令和7年度 公益財団法人那須野が原文化振興財団 事業計画及び収支予算

令和7年度公益財団法人那須野が原文化振興財団の事業計画及び収支予算に ついて

(総則)

第1条 令和7年公益財団法人那須野が原文化振興財団の事業計画及び収支予算については、次に定めるところによる。

(事業計画)

第2条 事業計画は、「令和7年度公益財団法人那須野が原文化振興財団事業計画」のと おりとする。

(資金収支ベース予算)

- 第3条 収支予算の総額は、収入支出それぞれ247,733千円と定める。
- 2 収支予算の科目の区分及び当該区分ごとの金額は、「別表1 収支予算書(資金収支計算ベース)」による。

(損益ベース予算)

第4条 損益ベース予算は、「別表2 収支予算書(正味財産増減計算書ベース)」により、その内訳は、「別表3 収支予算書内訳表(正味財産増減計算書ベース)」による。

令和7年度 公益財団法人那須野が原文化振興財団事業計画

1 基本方針

令和7年度は、那須野が原ハーモニーホール(以下「ホール」といいます。)の5年間の管理運営の指定管理を受託した最後の年度にあたります。引き続き、当財団が、ホール開館以来長年培ってきたホール管理運営のノウハウを生かし、ホールを拠点として、大田原市及び那須塩原市における文化の向上及び芸術の振興を図り、住民の自主的な文化活動を支援してまいります。

令和7年度はNHK交響楽団の現役メンバーの演奏会から未就学児が入場できる公演まで、幅広いジャンルの公演を開催し、地域文化の振興を担うホールとしての役割を果たしてまいります。

また、更なるコスト管理を行い、ますます多様化する利用者のニーズに対応し、利用率向上に努め、指定管理者として健全な法人経営に努めてまいります。

2 公益目的事業

(1) 主催公演事業

31本の主催・共催事業を計画し、様々な音楽・芸能・美術等に触れて もらい、芸術文化の鑑賞の機会の提供に努めます。

事業については、アンケートにより地域住民のニーズを把握し要望を取り入れることに努めます。

パイプオルガンは、札幌市のコンサートホール kitara のオルガニスト演奏会や海外オルガニスト招聘演奏会など、国内外の演奏家の演奏会を開催します。

ギャラリー部門では、地域の芸術作家による「原野展」「ハーモニーホール展」を開催し、洋画、日本画、版画、書などの平面部門と、工芸、彫刻などの立体部門の展示を計画します。また、令和7年度は、白河市と交互に開催している「那須白河文化交流美術展」の当会館開催年度で、白河地区の芸術家たちの作品をご覧いただけます。

周知方法については、ホームページやSNSに比重をおきつつ、従来どおり、新聞、ラジオ放送もアンケート等を参考とし行っていきます。また、大田原市及び那須塩原市広報紙に掲載依頼し、様々な年代の方々に来館していただけるよう努めます。

(2) 講座開設等地域の文化活動の振興に関する事業

ア) 文化団体育成事業

地域の文化団体の育成を重点事業と位置付け、オーケストラ養成 講座、合唱団育成講座(一般の部、少年少女の部)、演劇講座(演 劇部門)、パイプオルガンスクールの4講座5種目を実施します。 また、パイプオルガンスクールの最上位特別クラスを5年受講した方は、同スクールに新規受講生を受け入れる人数枠を確保するため継続受講は控えていただくこととする代わりに、講師から個別に1時間のレッスンを受けられるオルガンクリニックを年2回行い、パイプオルガンについてより深く学べる機会を提供します。

イ) ハーモニーホールフェスティバル「第32回地域文化活動育成事業」

大田原市及び那須塩原市を中心に活動する文化団体等を対象に発表の機会を提供し、地域の文化振興、伝統芸能の保存・継承を図ります。

ウ) 第32回マラソンコンサート

ホールの存在をアピールし、敷居が高いと思われがちなクラシックホールに気軽に来館していただくことを目的とし、参加者の練習の成果を発表する場を提供し、音楽ホールにおける発表の喜びと個々の音楽資質の向上を図ってまいります。

(3)施設の管理及び貸与に関する事業

ホールの指定管理者として、施設利用者が快適で安全に利用できるよう 常に良好な状態で提供します。

また、地域の芸術文化の振興、文化交流等の活動の拠点及び芸術文化の発信基地としての役割を十分認識し、施設の管理及び貸与を行います。そのため、チケットカウンターにご意見箱を置き、ホールに対する様々な意見をいただき、施設利用サービスを一層充実させるとともに、施設の機能を十分にアピールして施設稼働率向上と利用者の満足度の向上に努めます。

(4)目的を達成するための事業

- ア)芸術文化に関する情報収集及び広報に関する事業
 - ①情報収集
 - ○公立文化施設協会(協議会)研修会等への参加

全国公立文化施設協会及び栃木県公立文化施設協議会が主催する研修会等に参加し、疑問としている問題点の解決、他館の自主事業の開催状況や入場状況等の把握及び専門的技術の習得を行います。

○音楽事務所等からの情報収集

自主事業を企画・検討するため、音楽事務所及び劇団等から 公演予定の資料の収集を行います。

○観客からの意見、要望等の収集

自主事業開催時のアンケート等により、住民のニーズの把握 に努めます。

②広報活動

○広報紙等の活用

自主事業のPRのために、市広報、新聞、ラジオ、テレビを 活用し、積極的に住民への情報提供を行います。

○催し物案内の発行

那須野が原ハーモニーホールの情報紙として「催し物のご案内」を毎月発行し、自主事業案内をはじめとして、広くホールの情報提供を行います。

○インターネットの活用

ホームページやX、インスタグラムの充実、更新頻度を上げ、 事業・イベント情報を発信するとともに、事業を紹介する動画 配信 YouTube も活用します。また、新たに市のメール配信サービ スを利用し、事業の告知を行うなど情報発信の場を広げてまい ります。

○PRパンフレット作成

自主事業PR用チラシやポスターを作成し、県内外の公共施設や主要な施設に配付するとともに、ポスター掲示場の確保及びチケット販売促進の取組みを積極的に行います。上半期と下半期に分けた予定表を作成、新聞折込し、さらに多くの方に周知を行ってまいります。

○プレイガイドの充実

全国のコンビニエンスストアでの購入や、インターネットでの予約等を活用し、チケット販売拡大に努めます。

イ) 事業企画について

ギャラリーにおける利用及び事業の充実強化を図るため、大田原市及び那須塩原市の芸術関係者で構成する、那須野が原ハーモニーホールギャラリー運営委員会を開催し、運営方針等を検討します。

ウ)利用者サービス向上への取組み

①キャッシュレス決済の導入

利用者から要望の多いチケット販売時のキャッシュレス決済を引き 続き行います。

②託児制度の実施

財団が主催する音楽等の自主事業について、幼児等のいる入場者の 鑑賞を容易にするために、託児室の設置を行います。

③ボランティアスタッフ制度の実施

財団が主催する自主事業公演の円滑な運営及び地域に密着したホール創りを目的として、ボランティアスタッフ制度を充実させます。

3 収益事業

(1) 公益目的事業に該当しない施設の貸与

施設利用者に安定したサービスを提供し、施設稼働率向上と利用者の満足度の向上に努めます。また、施設の機能を十分にアピールし、利用リピーターの確保、新たな利用者の発掘及び公益目的事業の財源確保に努めます。

(2)物品販売事業

来館者の利便性向上のために自動販売機設置による飲料販売を行うとともに、来館記念の土産として「那須野が原ハーモニーホール録音 CD、DVD」や「ハーモニーようかん」の販売促進に努め収益向上を図ります。

4 相互扶助等事業

地域住民へ芸術文化の鑑賞機会を提供し、芸術文化の意識高揚を図ることを目的として設置された趣旨に基づき、芸術文化を愛し、ホールを支えるサポーターとして、那須野が原ハーモニーホール友の会の充実及び会員数の拡大を図ります。「会員の声は、ホールを支える声」として要望等の把握に努めます。また、催し物案内やチラシを定期的に郵送し、事業の案内周知に努めます。

5 年間事業計画について

別様の「令和7年度 公益財団法人那須野が原文化振興財団自主事業計画」によります。

収 支 予 算 書 (資金収支計算ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

111 🗆	マケボ	光左在又答好	4-4 264	(単位:十円) 備 考
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①基本財産運用収入	10		0	# D # # # # # # # # #
基本財産利息収入	10	10	-	基本財産定期・普通預金利息
②財産運用収入	22		0	
退職手当基金運用収入	20	20		退職手当基金運用利息収入
パイプオルガンオーバーホール積立金利息収入	1	1	•	パイプオルガンオーバーホール積立金運用利息収入
施設改修引当金利息収入	1	1		施設改修引当金運用利息収入
③施設利用料収入	23,000		△ 1,000	
施設利用料収入	23,000			ホール利用料等収入
④事業収入	9, 792		1,866	
自主事業収入	6, 230			自主事業開催による収入
受講料収入	2,562			講座受講料収入
収益事業収入	1,000	800	200	自動販売機手数料他
⑤受託収入	102,000		0	
施設管理受託収入	102,000	102,000	0	ホール管理運営に係る委託料
⑥負担金収入	35,000	35,000	0	
自主事業負担金収入	35,000	35,000	0	自主事業に係る両市負担金
⑦補助金収入	76, 789	75, 491	1, 298	
人件費補助金収入	75, 289	73, 991	1, 298	人件費に係る補助金
パイプオルガンオーバーホール積立補助金収入	1,500	1,500	0	パイプオルガンオーバーホール積立のための補助金
⑧寄附金収入	100	100	0	
公益目的事業寄附金収入	100	100	0	公益目的事業寄附金収入
⑨受取会費	1,000	1,000	0	
友の会会費収入	1,000	1,000	0	友の会会費収入
⑩雑 収 入	20	20	0	
受取利息収入	10	10	0	普通預金利息
雑収入	10	10		雑収入
事業活動収入計	247, 733	245, 569	2, 164	
2.事業活動支出	•		· ·	
①管理費支出	198, 534	196, 679	1,855	
役員報酬支出	262			理事等報酬
給料手当支出	48,636			職員給料及び各種手当
福利厚生費支出	10, 200			各種社会保険料他
賃金支出	13, 606			受付案内他臨時職員賃金
旅費支出	611			会議・研修会・調査等旅費他
交際費支出	30			交際費
消耗品費支出	1,800		_	事務用・管理用・舞台用消耗品費
燃料費支出	12, 680			冷暖房・公用車用燃料費
食糧費支出	10			来客接待用茶他
印刷製本費支出	215			封筒・施設パンフ等印刷代
光熱水費支出	27, 136			電気・水道・下水道使用料
修繕費支出	8,303			施設設備維持修繕費他
通信運搬費支出	585			電話・郵便料他
手数料支出	659			クリーニング代、振込手数料他
保険料支出	200	168		公立文化施設賠償責任災害補償保険料他
委託料支出	66,775			清掃・設備管理・舞台操作業務委託等
使用料及び賃借料支出	5, 255			電話交換機・複合機・印刷機リース料他
負担金支出	163			全国・県公文協負担金他
租税公課支出	1,408	1, 355	53	法人税・消費税・契約書用収入印紙他

科目	予算額	前年度予算額	増減	備	考
②芸術文化振興事業費支出	27,502	23, 871	3, 631		
諸謝金支出	298	358			- ィアスタッフ謝礼他
旅費支出	48	101		自主事業打合せ	
消耗品費支出	778	676	102	自主事業用消耗	品費
食糧費支出	264	323	△ 59	自主事業ケータ	リング他
印刷製本費支出	2,981	2,910		自主事業用印刷	
通信運搬費支出	1,288	1,710	△ 422	自主事業PR用	郵送代他
広告料支出	846	450	396	新聞広告料・ラ	ジオ広告料他
手数料支出	2, 144	2, 434	△ 290	チケット販売手	数料他
保険料支出	170	184	△ 14	ボランティアス	タッフ保険料他
委託料支出	18, 012	14, 016		自主事業公演委	
使用料及び賃借料支出	598	576			出演者等宿泊料他
租税公課支出	75	133		契約書用印紙代	
③文化活動育成事業費支出	16, 390	18, 355	△ 1,965)	
諸謝金支出	720	1, 166		演奏会エキスト	ラ謝礼他
旅費支出	330	400		オルガンスクー	
消耗品費支出	165	169		講座・展示事業	
食糧費支出	96	156		講座・展示事業	
印刷製本費支出	682	692		講座・展示事業	
通信運搬費支出	160	403		講座・展示事業	
手数料支出	123	400		ピアノ調律料他	门邦及作记
安託料支出 参託料支出	13, 510	14, 355		養成講座指導委	
安託行文山 使用料及び賃借料支出	325	335		著作権使用料他	5U11U
租税公課支出	279	279		契約書用印紙代	Иh
金友の会事業費支出	1,000	1,000	0	大小百円山水八八	16
一 労及の云事来買文正 常耗品費支出	1,000	1,000	0	車 数田沿封口	
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	80	80	0	事務用消耗品 友の会封筒印刷	
印刷製本費支出 通信運搬費支出	832	832	0	定期郵送代	
手数料支出	78	78		口座振替手数料	
⑤基金積立費支出	4, 087	5, 444	△ 1.357		
退職手当基金積立費支出	2,585	3, 942	\triangle 1,357	退職手当基金積	立費
パイプがカンオーバーホール積立費支出	1,501	1,501	0	ハ゜イフ゜オルカ゛ンオーハ゛・	-ホール積立費
<u>施設改修引当金支出</u> 事業活動支出計	247, 513	245, 349	<u>0</u> 2, 164	施設改修積立費	
事業活動又山前 事業活動収支差額	247, 513 220	245, 349	<u>2, 104</u> 0		
Ⅱ投資活動収支の部	220	220			
1.投資活動収入 投資活動収入計	0	0	0		
	0	0	0		
2.投資活動支出					
投資活動支出計	0	0	0		
投資活動収支差額	0	0	0		
Ⅲ財務活動収支の部					
1.財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0		
2.財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0		
財務活動収支差額	0	0	0		
WINNESS NOCE IN	0	0	<u> </u>		
Ⅳ予備費支出					
「M 」	220	220	^	予備費	
プ網貝又山a「 	220	220	U	」/"佣貝	
\/\#B\B_3 \\ \=	0.45 500	245 542	0.444		
当期収入合計	247, 733	245, 569	2, 164		
当期支出合計	247, 733	245, 569	2, 164		
当期収支差額	0	0	0		
前期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		
次期繰越収支差額	0	0	0		

注記 債務負担額

/上口	度切矣追 故					(単位:	千円)
	区	分	期	間	限	度	額
-	令和8年度自主事	業PR経費	令和7年度~	令和8年度		2,	000

令和7年度 収支予算書 (正味財産増減計算ベース) 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科		当	年		前	年			<u>単位:円)</u> 減
	•		'	<i>^</i>	13.3	1	^		" " "
1 1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
①基本財産運用益				10,000			10,000		0
基本財産受取利息				10,000			10,000		0
②財産運用益				20,000			20,000		0
退職手当基金受取利息				20, 000			20,000		0
③施設利用料収益				00,000			00,000		1,000,000
施設利用料収益				00,000			00,000		1,000,000
④事業収益				92,000			26,000		1,866,000
自主事業収益				30,000			76,000		1, 354, 000
受講料収益				52,000			50,000		312,000
収益事業収益				00,000			00,000		200,000
⑤受託収益				00,000			00,000		200,000
施設管理受託収益				00,000			00,000		0
6受取負担金 6元				00,000			00,000		0
受取自主事業負担金				00,000			00,000		0
⑦受取補助金				39,000			91,000		1, 298, 000
受取人件費補助金				39,000			91,000		1, 298, 000
8受取会費				00,000			00,000		1, 270, 000
受取友の会会費				00,000			00,000		0
⑨受取寄附金				01,001			01,001		0
受取公益目的事業寄附	余			00,000			00,000		0
受取寄附振替額	317			01, 001			01,001		0
⑩雑収益				20,000			20,000		0
受取利息				10,000			10,000		0
雑収益				10,000			10, 000 10, 000		0
経常収益計				32, 001			68, 001		2, 164, 000
(2)経常費用			_ 17, 7	<i>5</i> 2, 001		<u> </u>	00, 001		2, 101,000
事業費			232. 85	76, 979		230.7	45, 850		2, 131, 129
給料手当			-	38, 279			54, 804		533, 475
福利厚生費				75, 526			63, 095		312, 431
賃金				06,000			42,000		1, 564, 000
退職給付費用				31, 295			50, 121		1, 118, 826
諸謝金				18,000			24, 000		\triangle 506,000
旅費				32,000			05,000		\triangle 123,000
消耗品費				39, 032			80, 026	<u> </u>	359,006
燃料費				36, 993			69, 194		2, 767, 799
食糧費				50,000			79,000		\triangle 119,000
印刷製本費				21, 650			60,650	<u> </u>	61,000
光熱水費				52, 702			34, 853	Δ	3, 682, 151
修繕費				16, 317			75, 681		1, 740, 636
通信運搬費				66, 097			99, 097		\triangle 633,000
広告料				46,000			50,000		396,000
手数料				12, 942			02,000		\triangle 559,058
保険料				52, 685			40, 094		12, 591
委託料				99, 871			05, 948		693, 923
使用料及び賃借料				23, 138			79, 690		443, 448
租税公課				41, 893			54, 038		\triangle 12, 145
									0
減価償却費			3, 9'	76, 559		3, 9	76, 559		

科	目	当年度	前 年 度	増減
管理費		17, 330, 580	17, 297, 709	32, 871
幸好 一		262,000		
給料手当		12, 347, 721	12, 166, 196	
福利厚生費		1, 724, 474		
退職給付費用		453, 705		
旅費		107, 000		
交際費		30,000		
消耗品費		113, 968		
燃料費		143, 007		
食糧費		10,000	10,000	
印刷製本費		36, 350		
光熱水費		283, 298		
修繕費		86,683		
通信運搬費		98, 903		
手数料		361,058	357,000	4, 058
保険料		17, 315	11,906	
委託料		697, 129	723, 052	
使用料及び賃借料		54, 862	50, 310	
負担金		163, 000	163, 000	
租税公課		120, 107	112, 962	
推費		220, 000		
た。 経常費用計		250, 207, 559	248, 043, 559	2, 164, 000
		\triangle 475, 558	\triangle 475, 558	2, 104, 000
評価損益等調整前当期経常	道/前/队员	<u> </u>	<u> </u>	0
基本財産評価損益等		U	U	U
特定資産評価損益等		U	U	U
投資有価証券評価損益		0	0	0
評価損益等計		0	0	0
当期経常増減額		\triangle 475,558	△ 475 , 558	0
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額	預 	0	0	0
当期一般正味財産		\triangle 475, 558	\triangle 475,558	0
一般正味財産期		42, 351, 867	42, 827, 425	
一般正味財産期		41, 876, 309	42, 351, 867	\triangle 475,558
Ⅱ 指定正味財産増減の部		, 3.0, 307	.2,001,001	
受取補助金等				
パイプオルガンオーバーホール積立	補助全	1,500,000	1,500,000	0
受取利息	штулт	1, 300, 000	1, 300, 000	
	4117年	240	210	30
パイプオルガンオーバーホール積立金				_
施設改修目的積立金受	以 付 尽	10	10	0
一般正味財産への振替額		△ 3,501,001	\triangle 3,501,001	0
当期指定正味財産		△ 2,000,751	△ 2,000,781	30
指定正味財産期間		112, 863, 718	114, 864, 499	△ 2,000,781
指定正味財産期	₹残高	110, 862, 967	112, 863, 718	
Ⅲ 正味財産期末残高		152, 739, 276	155, 215, 585	\triangle 2, 476, 309

正味財産期末残高 152,739,276 155,215,585 △ 2,476,309 1 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成23年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「損益計算方式」に改め作成している。 2 予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日/内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」様式に準じて作成している。 3 前年度の一般正味財産・指定正味財産の期末残高及び当年度の一般正味財産・指定正味財産の期す残高、期末残高は、本予算編成時(令和7年1月)における見込額である。 ある。

収支予算書内訳表

(正味財産増減計算ベース)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

									(半位・ロ)
			収		内部取引				
科目	公益目的事業会計	収益目的貸館事業	物品販売事業	相互扶助事業	共通	小 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
		ハ亜ローラスパープハ	いれんべんりしすった	(友の会)	7,700	, pi			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
①基本財産運用益	0	0	0	0		0	10,000		10,000
基本財産受取利息	0	0	0	0		0	10,000		10,000
②財産運用益	13,088	3, 402	0	0		3, 402	3,510		20,000
退職手当基金受取利息	13,088	3, 402	0	0		3, 402	3,510		20,000
③施設利用料収益	13, 800, 000	9, 200, 000	0	0		9, 200, 000	0		23,000,000
施設利用料収益	13, 800, 000	9, 200, 000	0	0		9, 200, 000	0		23,000,000
④事業収益	8, 792, 000	0	1,000,000	0		1,000,000	0		9, 792, 000
自主事業収益	6, 230, 000		0	0		0	0		6, 230, 000
受講料収益	2, 562, 000		0	0		0	0		2, 562, 000
収益事業収益	0	0	1,000,000	0		1,000,000	0		1,000,000
⑤受託収益	85, 664, 318	13, 793, 002	0	0		13, 793, 002	2, 542, 680		102,000,000
施設管理受託収益	85, 664, 318		0	0		13, 793, 002	2, 542, 680		102,000,000
⑥受取負担金	35,000,000	0	0	0		0	0		35,000,000
受取自主事業負担金	35,000,000		0	0		0	0		35,000,000
⑦受取補助金	60, 501, 100		0	0		0	14, 787, 900		75, 289, 000
受取人件費補助金	60, 501, 100		0	0		0	14, 787, 900		75, 289, 000
⑧受取会費	0	0	0	1,000,000		1,000,000	0		1,000,000
友の会受取会費	0	0	0	1,000,000		1,000,000	0		1,000,000
⑨受取寄附金	3, 601, 001	0	0	0		0	0		3, 601, 001
受取公益目的事業寄附金	100,000	0	0	0		0	0		100,000
受取寄附振替額	3, 501, 001	0	0	0		0	0		3, 501, 001
⑩雑収益	0	0	0	0		0	20,000		20,000
受取利息	0	0	0	0		0	10,000		10,000
雑収益	0	0	0	0		0	10,000		10,000
経常収益計	207, 371, 507	22, 996, 404	1,000,000	1,000,000	0	24, 996, 404			249, 732, 001

		収益事業等会計						中如职引	
科目	公益目的事業会計	収益目的貸館事業	物品販売事業	相互扶助事業 (友の会)	共通	小 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
(2) 経常費用									
事業費	208, 980, 910	22, 763, 630			0	23, 896, 069			232, 876, 97
給料手当	31, 031, 062	5, 257, 217	0	v		5, 257, 217			36, 288, 27
福利厚生費	7, 368, 549	1, 091, 916	15,061	0		1, 106, 977			8, 475, 52
賃金	12, 117, 609	1, 428, 254				1,488,391			13, 606, 00
退職給付費用	1, 691, 593	439, 702	0			439, 702			2, 131, 29
諸謝金	1,018,000	0				0			1, 018, 00
旅費	882,000	0				0			882,00
消耗品費	2, 428, 793	198, 906	1, 333	10,000		210, 239			2, 639, 03
燃料費	11, 109, 466	1, 422, 725	4, 802	0		1, 427, 527			12, 536, 99
食糧費	360,000	0				0			360,00
印刷製本費	3, 818, 317	23, 016	317	80,000		103, 333			3, 921, 65
光熱水費	23, 797, 119	3, 045, 465	10, 118	0		3, 055, 583		-	26, 852, 70
修繕費	7, 281, 378 1, 870, 608	931, 843	3,096 864	832, 000		934, 939 895, 489			8, 216, 31
通信運搬費 広告料	846,000	62, 625 0	0			895, 489			2, 766, 09° 846, 00°
手数料	2, 562, 338	2,569	35	78,000		80,604		-	2, 642, 94
保険料	330, 555	21, 949	181	78,000		22, 130			352, 68
委託料	90, 080, 837	7, 494, 137	24, 897	0		7, 519, 034			97, 599, 87
使用料及び賃借料	5, 531, 412	589, 767	1, 959			591, 726			6, 123, 13
租税公課	878, 715	753, 539	4,674			763, 178			1, 641, 89
減価償却費	3, 976, 559	755, 557				705, 170			3, 976, 55
管理費	3,710,337	0	0	J.			17, 330, 580		17, 330, 58
報酬							262,000		262, 00
給料手当							12, 347, 721		12, 347, 72
福利厚生費							1, 724, 474		1, 724, 47
退職給付費用							453, 705		453, 70
旅費							107,000		107, 00
交際費							30,000		30,00
消耗品費							113, 968		113, 96
燃料費							143,007		143, 00
食糧費							10,000		10,00
印刷製本費							36,350		36, 35
光熱水費							283, 298		283, 299 86, 68 98, 90
修繕費							86, 683		86, 68
通信運搬費							98, 903		98, 90
手数料							361, 058		361.05
保険料							17, 315		17, 31 697, 12
委託料							697, 129		697, 12
使用料及び賃借料 負担金							54, 862		54, 86
							163,000		163, 00
租税公課							120, 107 220, 000		120, 10
推費 経営専用計	200 000 010	22 7/2 /20	127 474	1 004 045		22 004 040			220,00
経常費用計	208, 980, 910	22, 763, 630	127, 474	1, 004, 965		23, 896, 069	17, 330, 580		250, 207, 55

5 1	収益事業等会計				\ \	内部取引	A =1		
科目	公益目的事業会計	収益目的貸館事業	物品販売事業	相互扶助事業 (友の会)	共通	小 計	法人会計	消去	合 計
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,609,403	232, 774	872,526	△ 4,965		1, 100, 335	33,510		△ 475, 558
基本財産評価損益等	0	0	0	0		0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0		0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0		0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0		0	0		0
当期経常増減額	△ 1,609,403	232, 774	872, 526	△ 4,965		1, 100, 335	33, 510		△ 475,558
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0		0	0		0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0		0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0		0	0		0
他会計振替額	1, 133, 845			0	△ 1, 100, 335	\triangle 1, 100, 335	△ 33,510		0
当期一般正味財産増減額	△ 475,558			0	0	0	0		△ 475, 558
一般正味財産期首残高	12, 341, 677			0	0	0	30, 010, 190		42, 351, 867
一般正味財産期末残高	11, 866, 119	0	0	0	0	0	30, 010, 190		41, 876, 309
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
パイプオルガンオーバーホール積立補助金	1,500,000	0	0	0		0	0		1,500,000
受取利息									
パイプオルガンオーバーホール積立金受取利息	240	0	0	0		0	0		240
施設改修目的積立金受取利息	0	0	0	0		0	10		10
一般正味財産への振替額	△ 3,501,001		0	0		0	0		△ 3,501,001
当期指定正味財産増減額				0		0	10		△ 2,000,751
指定正味財産期首残高	112, 363, 578			0		0	500, 140		112, 863, 718
指定正味財産期末残高	110, 362, 817			0		0	500, 150		110, 862, 967
Ⅲ 正味財産期末残高	122, 228, 936	0	0	0	0	0	30, 510, 340		152, 739, 276